

## 南湖に放流したホンモロコ標識魚(平成27年度放流群)の追跡調査

米田一紀・根本守仁・片岡佳孝

## 1. 目的

かつてホンモロコの主要な産卵場であった南湖は、現在ほとんど産卵が確認されなくなっている。そのため、産卵繁殖場から北湖までの連続性を確保した水草刈り取りおよび標識種苗放流を行い、南湖での再生産を回復させる取り組みを行っている。水産試験場ではこの事業で放流された種苗追跡調査することにより、南湖から北湖への移動分布の把握と産卵状況および親魚来遊状況調査によりホンモロコの再生産を確認し、増殖促進効果を実証する。本項では平成27年に下笠地先で放流されたホンモロコの追跡調査を報告する。

## 2. 方法

- ① 親魚来遊状況調査：春期(3~6月)に、南湖で漁業者の傭船による刺網調査を行った。稚魚放流地点付近の地点(図1)において3月に3回、4月以降は各月1回行った。採捕されたホンモロコ親魚はALC耳石標識を確認した。
- ② 産卵状況確認調査：春期(4月上旬~6月下旬)にほぼ毎週1回、稚魚放流地点付近や下笠造成ヨシ帯(図1)を中心として、産卵の有無を調査した。

## 3. 結果

- ① 親魚来遊状況調査：ホンモロコ親魚は稚魚放流地点付近で計3尾が採集されたが、いずれも無標識であった(表1)。無標識の場合、水田放流魚もしくは天然域での再生産魚のいずれかであるが、昨年度には採集地点の付近で産卵が確認されており、天然域での再生産個体が、産卵のために来遊してきた可能性も十分にありうると考えられる。
- ② 産卵状況確認調査：4/6~6/14の期間で計11回の調査を行ったが、調査地点での産卵は確認されなかった。



図1 ホンモロコ放流地点および調査地点

表1 下笠地先のホンモロコ親魚採捕尾数

調査日	採捕尾数 (うち標識魚)	
3月4日	1	0
3月17日	1	0
3月29日	0	0
4月18日	0	0
5月28日	1	0
6月17日	0	0